

題名 広島派遣を通して考えたこと

鹿沼市立東中学校 (氏名) 中村 杏彩



広島派遣を通して、平和の尊さをより深く考えることができました。特に印象に残っているのは平和記念資料館で見た、焼かれた皮膚をぶら下げながら歩いている人々のイラストです。それは人間の姿とはほど遠いものでした。平和学習受入プログラムの被爆体験講和では、当時のご家族のことや自分の生活についてお話してくださいました。中でも、母の両腕で妹と弟が亡くなったという話は、胸が苦しくなりました。たった1発の原子爆弾は多くの人を命を奪い、当たり前前の日常さえも消してしまいました。そして80年経った今でも、後遺症や精神面で苦しんでいる人が多くいます。自分の目で見て感じたり、直接話を聞くことができたこの貴重な3日間を忘れず、この先は私たちが責任をもって1945年8月6日にあった出来事を伝え続けていきたいです。